

やはば

議会だより

218
2021.10.18
岩手県
矢巾町議会



令和2年度決算審査

コロナ感染対策生活支援を重点的に … 2

予算決算常任委員会

会派代表質疑 決算を踏まえ徹底検証…………… 6

一般質問 町政を問う

農業後継者の育成は 一般質問10議員 … 16

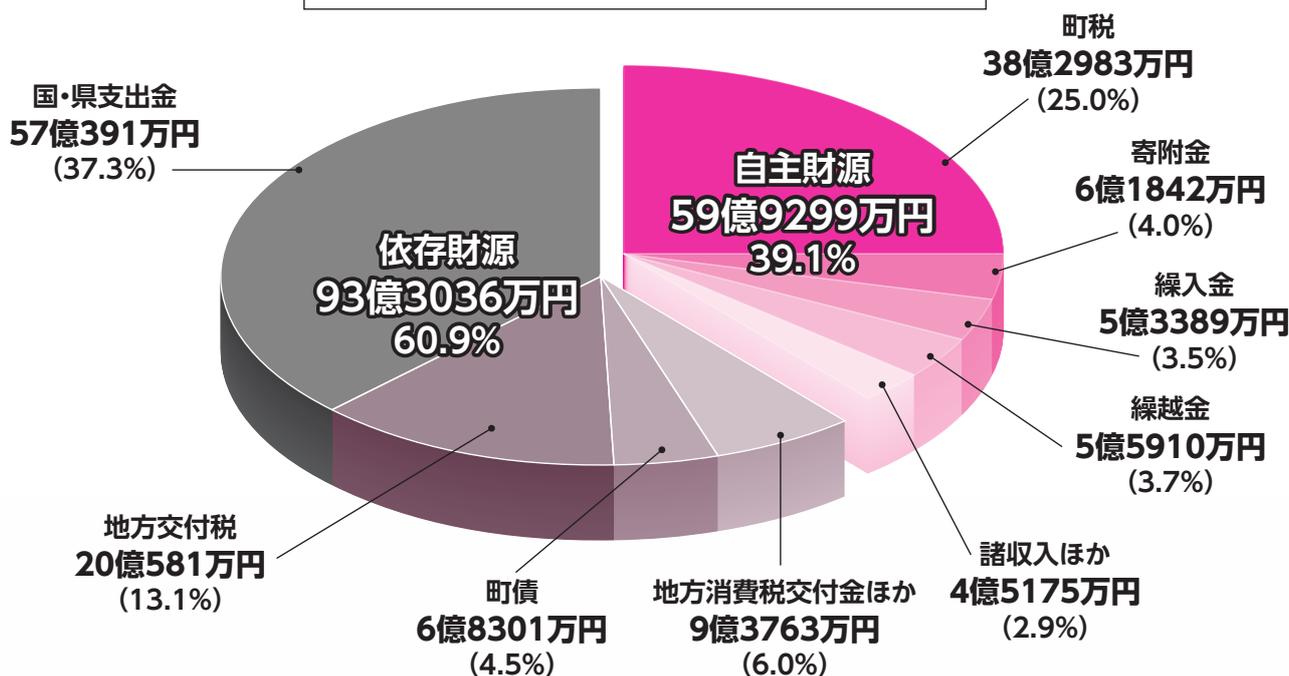
交通安全
ピヨピヨキャラバン
ふどう子ども園
(関連記事…P28)

生活支援を重点的に

定例会9月会議は9月3日から22日までの20日間行われ、令和2年度の決算を中心に補正予算などを審議しました。審議の結果すべての議案を原案のとおり認定・可決・同意しました。

入ってきたお金
一般会計歳入 153億2335万円

〔1万円未満は四捨五入〕



用語説明

【歳入】

自主財源

町がみなさんから集めたお金

依存財源

国や県からもらえるお金

繰入金

町の基金（貯金）から取り崩して使うお金

分担金・負担金（諸収入）

保育料など、特定のサービスを受ける方からもらうお金

歳入

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比8.7%増の約153億2335万円となりました。

自主財源は約59億9299万円、前年度に比べ約7億935万円減少しています。

町税はわずかに増加し、財政調整基金等の繰入金は約6億5455万円減少と

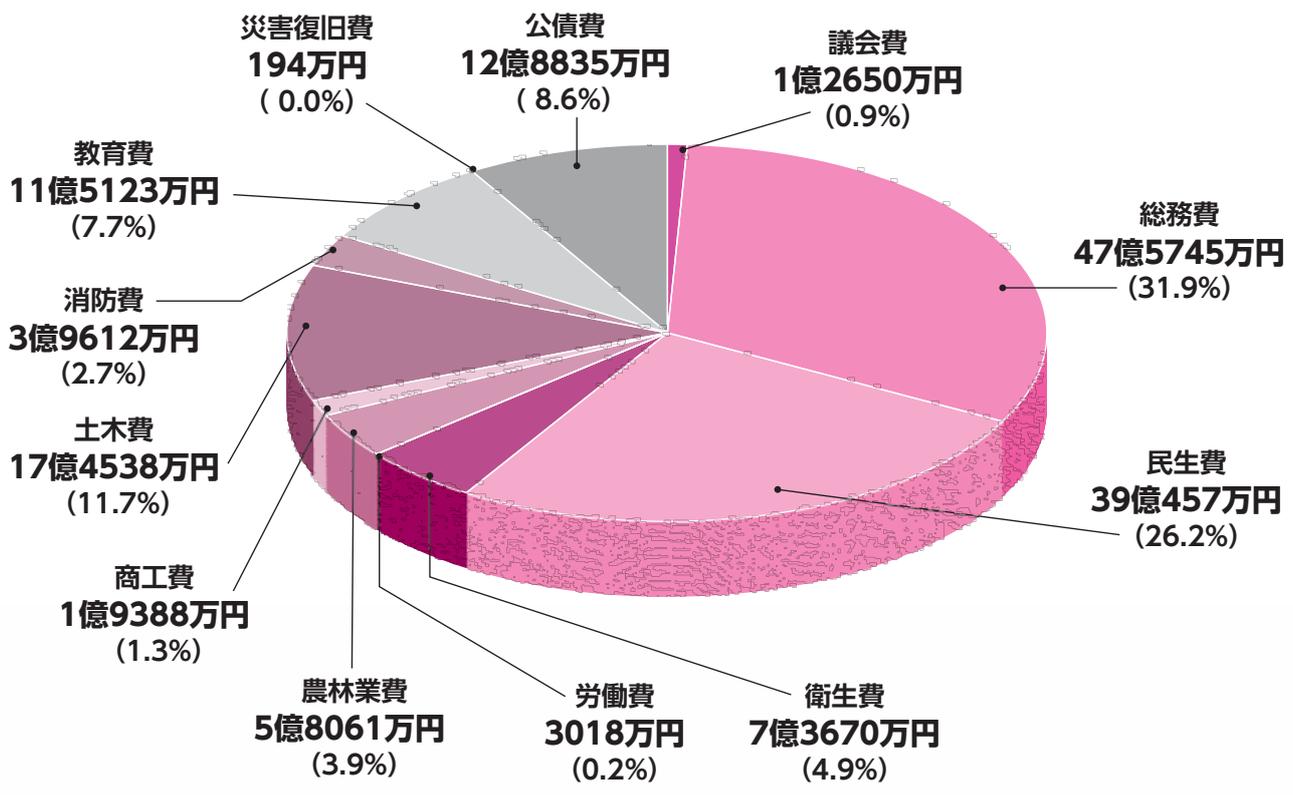
前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症対応関連で、特別定額給付金給付事業費補助金や地方創生臨時交付金などの国・県支出金が増加しています。

依存財源は約93億3036万円、前年度と比べて約19億3039万円増加しています。

令和2年度
決算審査

コロナ感染対策

使ったお金
一般会計
歳出 **149億1291万円**



用語説明

【歳出】

総務費
特別定額給付、庁舎、財産等の維持管理等の経費

民生費
児童手当や高齢者、障がい者など、福祉のための経費

商工費
中小企業、個人事業者へのコロナ支援の経費等

公債費
町が借りたお金の返済金

特別会計・企業会計については4～5ページのとおりです

歳出

一般会計の歳出は、前年度比10・1%増の約149億1291万円となりました。

総務費は前年度に比べ約22億5806万円の増となりました。主に特別定額給付金や赤ちゃん子育て応援給付金、高速無線通信基地局設置工事などの新型コロナウイルス感染症対応関連で支出されています。

民生費の子育て世帯への臨時特別給付金、商工費の中小企業への資金融資事業なども感染症対応関連で支出されています。

教育費は感染症対応関連で増加した一方、空調整備事業の減により前年度比では減少しました。

土木費は医大周辺の道路整備事業などの減により前年度比で約12億6千万円減少しています。

特別会計…高齢者給付費 緩やかに増加

国民健康保険事業特別会計

歳入 **24億 27万円**
前年度比 **2.4%減** ↓

歳出 **23億 5723万円**
前年度比 **3.2%減** ↓

歳出は医療給付費などに使われました。前年度に比べ給付費が減少しており、コロナ感染者数増加の影響で、受診控えの傾向があったと想定されます。

被保険者 (4,936人)



1人当たりの歳出
47万7559円

介護保険事業特別会計

歳入 **24億4355万円**
前年度比 **3.4%増** ↑

歳出 **23億 659万円**
前年度比 **3.3%増** ↑

65歳以上の介護サービス給付費や予防事業に使われました。

被保険者数や給付費は少しずつ増加していますが、日経新聞によると東北の中では当町の介護給付費の伸び率は抑えられています。

被保険者 (7,232人)



1人当たりの歳出
31万8942円

後期高齢者医療特別会計

歳入 **2億2534万円**
前年度比 **5.1%増** ↑

歳出 **2億2303万円**
前年度比 **4.0%増** ↑

歳出の約2億円は保険給付事業を行う岩手県後期高齢者医療広域連合へ支払う納付金です。

納付金は主に75歳以上の方の医療給付費などに使われます。

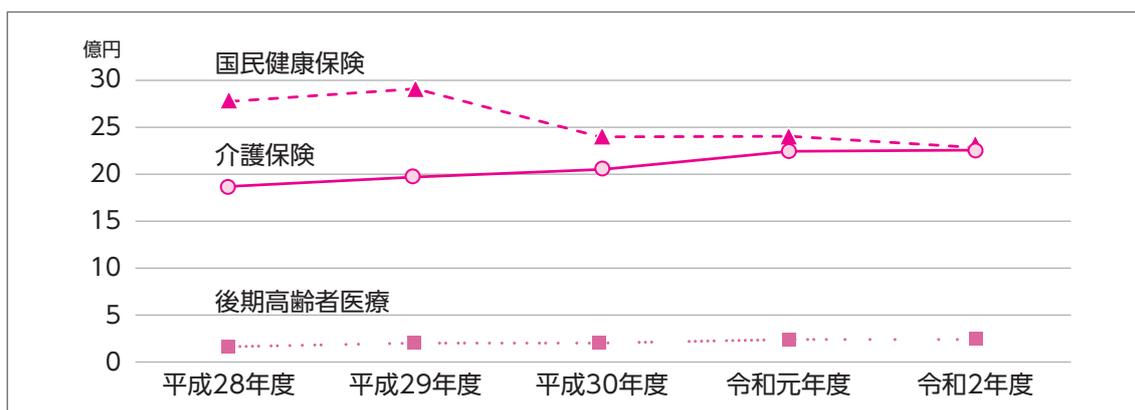
被保険者 (3,327人)



1人当たりの歳出
6万7036円

※1万円未満は四捨五入、1人あたりの金額は令和3年3月末の人数から算出しました。

特別会計決算額(歳出)の推移



企業会計…引き続き漏水・不明水対策を

企業会計		収入	支出	収入支出差引額
水道事業会計	収益的	9億 1326 万円	5億 7373 万円	3億 3953 万円
	資本的	3188 万円	5億 1064 万円	△4億 7876 万円
下水道事業会計	収益的	14 億 7724 万円	12 億 8956 万円	1億 8768 万円
	資本的	6692 万円	6億 293 万円	△5億 3601 万円

用語説明

収益的収入および支出

水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や収支

資本的収入および支出

施設の新設や再整備に使用するための収入や収支

実質収支

収入と支出の実質的な差

有収率

供給水量に対する使用水量の割合

不明水

下水道管の壊れたところから入ってくる地下水や雨水など

水道事業、下水道事業の資本的収支で不足する額は、減価償却などの現金の支出を伴わない損益勘定留保資金等で補てんしているんじゃ。



じゃじゃっとくん
(水道やはばキャラクター)

監査意見

佐々木良隆 委員
長谷川和男 委員

より一層健全な財政運営を

令和2年度の決算状況について、一般会計と3つの特別会計実質収支額は約5億4620万円を計上しているが、今後自主財源の確保に努めるとともに行財政改革に取り組み、より一層健全な財政運営が行われることを期待する。

水道事業会計は、有収率93.99%と経営指標79.50%を大幅に上回る高水準であり、引き続き漏水調査を実施し、計画的な水道管と設備の更新に努められたい。

下水道事業会計の有収率は前年度から1.8%上昇しているが公共下水道事業、農業集落排水事業とも経営指標を下回っていることから、引き続き計画的な不明水対策に取り組まれない。今後コロナ対策に必要な財政需要が増加する一方、景気の低迷を受け大幅な減収が予想されるなどさらに厳しい財政運営が見込まれる。



審査意見の説明を行う
佐々木代表監査委員

派 会
代表質疑

決算を踏まえ徹底検証

代表質疑とは、会派の代表議員が提案された議案に対して行う質問です。主に決算を扱う会議で行います。本町では3名以上の交渉会派が代表質疑を行います。

草刈り課題の解消を



町民の会
水本 淳一議員

質問 河川雑物除去委託料については、主に行政区等に委託し一級河川等の草刈りを行っている。高齢化などで参加者も少なくなっていることから、県・町道、農業用水路も含め今後の草刈り等のあり方を検討すべきでは。

回答 支援策を考え対応して行く。

質問 西部地区の昨年度の観光整備事業は。

回答 南昌山自然公園内関連事業として計上している。城内山の登山道以外の山林は、私有地であり里山整備事業を活用する。やまゆり栽培育成事業も含まれる。

有害鳥獣対策の強化を



一心会
廣田 光男議員

質問 本町の有害鳥獣被害の実態は。

回答 クマやイノシシ等の有害鳥獣による農作物被害が多発している。特にイノシシは、ほ場の掘り起こしや麦・稲の踏み倒しの被害や獣臭によるコメの出荷停止が出ている。

質問 有害鳥獣対策は予防と駆除に尽きるが、本町の対策状況と今後の取り組みは。



実施事業の成果を問う



矢巾明進会
村松 信一議員

質問 空き町有地の売却を積極的に進めた結果は。

回答 売却を予定した土地7件は全て契約済である。

流通センターと広宮沢に各1件あるが、公募型プロポーザルで提案を募集していく。

質問 設置済み高速無線通信の目標とするエリアカバー率は。

回答 町内全世帯の9割を、市街地は全域の通信可能となることを目標としている。

質問 煙山ダムは西部地区

観光の一部であることから、
ダムの愛称を募集しては。

回答 観光振興に繋がる
ことから、愛称を広く募
集することも含め、検討
を進めて行く。



質問 町道中央1号線改良工事の進捗状況は。

回答 矢中東小学校交差点から岩手医大
キャンパスまでの施工延長1.4 kmに対し、
令和2年度の完了延長は1.06 kmであり進捗
状況は約75・5割となる。

質問 メディカルフィットネス推進業務委託
事業であるウェルベース矢中の利用状況は。
また、採算ライン会員数と目標会員数は。

回答 令和2年度は毎月約320人が利用
し、会員の9割が月に1回以上は利用している。
今年8月は352人であり、引き続き感染
症対策に万全を尽くし事業を進める。
採算ラインは370名であり目標は400
名以上としている。

質問 移住支援金の利用状況は。

回答 町ホームページや県運営の移住・定住
ポータルサイトで周知を図り、関係機関と連
携し進めているが、令和2年度は問い合わせ
や相談がなかった。

回答 予防対策として、被害の多い行政区に
有害鳥獣目撃情報等連絡員を配置し、注意喚
起の広報活動を行っている。

駆除対策として、町猟友会と連携して捕獲
罠を設置している。

今後、有害鳥獣を寄せ付けない環境づくり
や侵入防止柵設置等の経費補助も検討する。

質問 コメの振興対策について、行政は支援
策を講ずるべきである。例えば、コメの出荷
経費の一部助成や概算金一部上乗せの支給、
また、資金繰りの一部補助および資金貸付等
いち早く対応する必要があると思うが。

回答 農業者が安定して健全な経営を行うに
は、農作物の価格下落、自然災害等、想定し
難い事象にも対応可能な収入保険制度こそ有
効と考える。

資金繰りについては、無利子や利子補給が
受けられる融資制度が整備されている。
また、農協による融資制度の活用もある。

質問 移動スーパー生活支援金の具体的な事
業内容と費用効果および今後の方向性は。

回答 月曜日から金曜日まで町内20カ所の自
治公民館で移動販売を実施している。
利用者の方から継続を求める声をいただいで
いることや、自宅への個別販売の要望も多いこ
とから、西部地域や国道4号の東側地域を中心
に実施できるよう、関係機関と協議を進める。

質問 コロナ感染症対策として、税の納付を
1年間猶予する軽減措置の評価は。

回答 延べ25社36件の徴収猶予を許可した。
1件あたり59万円と多くの法人が活用し、効
果があったと思われる。

質問 令和2年4月以降に生まれた新生児に
対する特別給付金10万円の実施結果は。

回答 対象の出生児175名に対しての支給
を完了した。

質問 ビッグブルズの活動
による児童・生徒へのスポー
ツの成績効果はどうか。

回答 県中学校総合体育
大会において、矢中中学校バ
スケットボール部が優勝し素
晴らしい波及効果があった。



質問 ギガ・スクール構想で全児童生徒に配
布したタブレットの活用方法は。

回答 今後、継続的にサポートできるよう準
備中である。

質問 農地最適化活動で耕作放棄地などの内
容や確認作業は、どのように実施しているか。

回答 毎月行う農業委員会総会で農地集積・
集約化の推進活動、遊休農地パトロール活動
など提出された内容を精査している。

令和2年度決算を慎重審議

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会(廣田清実委員長)で審議しました。

一般会計

財政

質問 健康志向の中、たばこ税が増加している理由は。

回答 本数は140万本減っているが、税率が改正されたため、全体では増額となった。

質問 果籠り需要でふるさと納税が伸びたが、食料品以外のサービスの検討は。

回答 今後、ひまわり畑ツアーなど町を知ってもらえるような返礼品を検討したい。

質問 メディカルフィットネス事業の検証は。

回答 町民の運動や栄養指導などの拠点を目指し、短期および長期的視野で検証する。

総務・防災

質問 わたまるメールは災害や不審者などの情報が入り便利である。登録者の増員は。

回答 あらゆる機会を捉えて周知を図りたい

質問 防犯灯のLED化は、人口が少ない自治会は半額負担が難しい。気軽に活用できるような補助を考えてほしい。

回答 補助率の変更は考えていない。LED化については、町に相談してほしい。

質問 ペットも家族としている人も多く、災害時の避難所へのペット対応は。

回答 非常に重要な点と認識する。動物病院等と協定など検討し、ペット同伴者も受け入れるような対応をしたい。

質問 消防団員が減少しているが、今後の取り組みは。

回答 ドローンなど導入した

実訓練を中心に行っている。また、学生消防団員も含め団員確保に努めたい。



災害や不審者情報等が確認できる わたまるメール



質問 本町の規模では防災士は何人必要と考えるか。

また、地域での役割は。

回答 各行政区最低2名必要と考えている。今後、防災士のスキルアップを図り町と連携しながら支援していく。

質問 公共交通施策は費用を多くかけている割に、利用者が少ない。デマンド型乗合タクシーは町民の声を聴いて改善し利用者を増やす対策してほしいが。

回答 町民の声を再度聴き公共交通会議の中で検討し、使いやすい町民の足としたい。

質問 公園遊具を撤去した後に遊具の新設はないが、ベンチ等を設置して欲しいが。

回答 令和2年度もベンチ等は交換などの対応をした。新たな要望があれば対応したい。

質問 移動スーパーの利用状況は、また継続するためには、損益計算等が必要と考えるが。

回答 8月末までの5ヶ月間の売り上げ実績は、約165万円。一日平均では1万6千円である。現在、公民館など20カ所を回っているが、今後は各自宅に向くよう準備をしている。

また、売り上げに特化しないので、ニーズに応えるのも重要と考えることから、JASインセラと検討したい。

質問 中山間地域等直接支払交付金は、不動6地区が受けている。煙山地区には該当しないのか。また全町で対応できないか。

回答 当交付金は、地域を特定した特別認定地域で、平地は要件が満たされない。不動地区は、大白沢地域をはじめ、各地域で進めた経緯がある。煙山地区は協議が必要である。



岩手県ホームページより

質問 有害鳥獣の年間駆除頭数は決まっているのか。

回答 矢巾町ではツキノワグマ6頭が許可されており、それ以外は制限がない。

質問 特産品普及事業の活動内容は。

回答 矢巾観光開発株式会社に既存特産品のPR等を委託。コロナ禍でイベントや出張販売などの普及活動ができず、サイトでの販売やふるさと納税の返礼品に力を入れた。

質問 生活道路改良舗装工事の要望で、昭和63年の要望が一番古い。環境も変化している。着手はどのように決めているか。

回答 平成28年度から道路の懇談会を開催し、要望等を加除する形をとっている。

令和2年度はコロナ禍もあり懇談会が実施できていない。令和3年度は、和味地内の大和線と赤林地内の的場2号線を整備する予定である。

質問 農業生産振興対策事業費の繰越理由と今後の方針は。

回答 しいたけホダ木の納品が年度明けの4月から6月ごろで、前年度の事業を翌年度の最初に実施している状況である。

事業ある限りは、しいたけ生産農家の支援を続けいく。

質問 町営住宅の長寿命化計画見直し業務委託は令和3年度から10年間の見直しとなる。町営住宅集約化との関係はどのようになるのか。

回答 長寿命化計画見直しの住宅は集約化の対象に入っていない。集約を想定しているところは、高田・矢巾住宅である。

質問 道路、河川の草刈りは、高齢化や担い手不足が問題となっている。国の管理は国で、県の管理は県で、町道は町で、それぞれ管理してほしい。

回答 大きな課題であり、国、県を含め関係者で、検討する。



高齢化が問題となっている町内の草刈り作業 (煙山行政区)

環境

質問 火葬場利用数は町外の利用者が3分の1であり、増加している。

火葬場を町中ではなく、山側にといい意見もある。

第8次町総合計画の中で早めに検討すべきでは。

回答 黒煙問題もあり、できる限り早めに対応したい。岩清水行政区にこの話もある。財源確保のうえ、墓地公園なども併せて検討したい。

質問 不法投棄を減らすために、パトロール以外で取り組んでいるものはあるか。

回答 啓発看板は、随時要望があった場所に設置している。

今後は監視カメラについても検討したい。

質問 イセファームの悪臭状況はどうなっているか。

回答 ここ数年苦情は減ってきているし、農場では母豚の頭数を減らしたり、消臭剤を散布して対策している。



老朽化が進む町営火葬場

福祉

質問 補装具支給費の支給状況は。

回答 幅広い年齢層の方に支給している。令和2年度は子どもの利用が多かったのが特徴である。



補装具とは義肢、装具、車いす等のこと

質問 生活保護世帯と就学援助世帯は給食費が無償となるが、滞納者への対応は。

回答 滞納者には就学援助制度を説明し、声掛けをしながら訪問して相談対応している。

質問 一人暮らし老人の緊急通報システムで実際通報の

あった件数は。また加入促進は、どのように行っているか。

回答 令和2年度に受理した通報件数は10件。

保健師が中心となり地域包括支援センター、介護事業所、民生委員と連携し対象世帯に周知啓発を行っている。

質問 精神保健事業のSOS出し方教室の小学校の対象学年は。

回答 令和2年度から不動小学校4・5年生を対象に実施したが、令和3年度は煙山小学校5年生を対象に実施済み。今後は各小学校を順番に開催する予定である。



SOS 出し方教室 (煙山小学校)

教育・文化

質問 中小学校の補修工事で予算の関係上昨年度実施できずに、今年度以降の対応に持ち越しになっている状況は。

回答 要望のうち対応できたものは約6割で4割は手つかずの状態だが、危険箇所は対応済みである。

質問 子どもたちの部活動の成績が素晴らしい。頑張りの要因は分析されているか。

回答 小学校からの育成やスポーツ少年団との連携、あるいは町民の方が長年の指導を担ってきた。また中学校の指導者などの連携があったからと思う。

この部活をやって良かったという子どもたちの育成が大事である。

質問 学力向上推進事業増額の理由は。

回答 令和2年度、学力向上の一環で個々の弱点の克服のため、中学校のテストの採点



高く補強された防球ネット（矢巾東小学校）

結果をデータ蓄積するシステムを導入した。

質問 小学校教育振興事業の英語力向上、小学校の学校公開は令和元年度限りで終わつたということか。

回答 英語力向上事業は、教科制になったため事業としては行わない。

体力向上推進事業は、例年行っていたが令和2年度はコロナ禍の関係で中止した。

国民健康保険会計

質問 国保会計で基金の使い道はどうなるか。

回答 支出の保険給付費が前年より9千万円減額になった。

コロナ感染が多い期間には医療費も減少し、それに伴う県支出金が減額となった。

県外自治体では国保赤字運営の事例があるが、本町は安定運営ができた。

企業会計

質問 高田地区の現在使われていない水上げポンプの壁に虫が大量発生したが、町の資産なのか、今後の活用は。

回答 町の資産であり、今後の検討に時間をいただきたい。虫については時期的に来年度現地確認し対応する。

質問 医大附属病院の開院により、水の需要が高まると思われる。

回答 報告書では稼働率77・82%だが、90%ぐらいまでは大丈夫なのか。

回答 7割から8割ぐらいが適正な稼働率と考えている。現状の水量であれば、特別高い数字ではないと考える。



現在使用されていないポンプ場（高田地区）

審査報告

予算決算常任委員会委員長 廣田 清美

共生社会実現の事業推進を

次のとおり附帯決議を付して議長へ報告しました。(内容抜粋)

- 防災ラジオの普及状況が低く普及拡大を図りたい。
- 防災マップの早急な整備が必要。防災会議の女性委員3割以上の増員に努められたい。
- 消防団員が減少していることから学生消防団の活用を検討されたい。
- 通学路や生活道路の交通安全対策を図られたい。
- 循環型バスとデマンド型乗合タクシーは利用しやすい運行改善に努められたい。
- SOS出し方教室やゲートキーパー養成講座等で自殺予防に努められたい。
- 火葬場の利用が増えていることから、移転も含めた整備計画を検討されたい。
- GIGAスクール事業は、ネット依存・誹謗中傷等の情報を管理し推進を図られたい。
- 鳥獣被害防止計画を立て対応を進められたい。
- 実質公債比率、将来負担比率改善に取り組まれたい。
- SDGsの達成、共生社会実現のための事業推進を。
- 学校給食費は滞納額削減に努め、給食の安定供給を図られたい。
- ごみ減量化に向け、事業系等ごみ削減に積極的な啓発を図られたい。
- 人口減少が進んでいる。若者女性の移住定住を図るため企業誘致に努められたい。
- 多様性のあるまちづくりとスポーツのまちとして、誰でも参加できる環境づくりに努められたい。
- 水道管の耐震化、下水道の不排水対策を進め、安定した事業に努められたい。

令和2年度決算

討論

令和2年度の決算議案が表決に付される前に、案件に対して村松信一議員、小川文子議員の2名が賛成と反対の意見を表明しました。

賛成 町民目線の 積極的施策を評価

高速無線通信網構想事業等、本町の未来に向けた取り組みや保護者の買い物、通院など一時的に対応できる「ファミリーサポートセンター事業」を立ち上げ、子育て支援の強化に努めたこと、またスクールバスの運行開始など職員の積極的な施策の取り組みは町民目線であり評価する。

村松 信一

反対 スーパーシティ 説明責任を果たせ

コロナ対策費が、Wi-Fi基地局の設置や南昌グリーンハイツの改修など投資的な経費に使われ、町民や事業者への直接支援が少なかった。

また、スーパーシティ型国家戦略特区は行政の民営化に道を開くものであり、町民への説明責任を果たしていないことから反対する。

小川 文子

発議案

コロナ感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらす地方財政はかつてない厳しい状況が予想されます。国に対し要望する意見書提出の発議案が可決されました。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(抜粋)

● 令和4年度以降3年間の地方一般財源は、十分な総額を確保すること。

● 固定資産税制度の根幹を揺るがす見直しは行わずに、コロナ対策での特例措置は、国庫補助金等で対応すること。

● 土地の固定資産税課税標準額の負担調整措置は、令和3年度限りとする。

● 自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の更なる延長は行わないこと。

● 炭素に係る税を創設、拡充する場合は、一部を地方に税源配分すること。

ワクチン接種体制を確保

8月会議では主にワクチン接種に係る補正予算などを、9月会議では一般会計や特別会計の補正予算のほか条例などを慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。ここではその一部を紹介いたします。

8月会議

条例

手数料条例および

個人情報保護条例一部改正

国のデジタル社会形成関連の法律が改正されたことによる条例の一部改正。

マイナンバーカード発行手続きは、引き続き町民環境課の窓口で行います。

反対討論

国のデジタル法関連で個人情報報が地方自治体、独立行政法人、国の行政団体など一元化されることにより個人情報報の保護に関し危惧される。今回の条例改正に反対する。

小川 文字

補正予算

主な歳出

▼高齢者等新型コロナウイルスワクチン接種輸送委託料
102万円

交通手段がない高齢者等の自宅から接種会場までのタクシー往復料金を補助します。

9月会議

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意

細川 縈 子 さん

(再任・岩清水)

山本 加代子 さん

(再任・西徳田1区)

任期は令和4年1月1日から3年間となります。

条例

介護保険条例および

後期高齢者医療条例一部改正

介護保険料と後期高齢者保険料の普通徴収は、年間の納付期数が12期制から8期制に改正されます。

補正予算

一般会計第4・5号

主な歳入

▽普通交付税

2億4205万円

▽新型コロナウイルス

ワクチン接種対策負担金
3404万円

▽新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金
1億3250万円

▽新型コロナウイルスワクチン
接種体制確保事業費補助金
2932万円

▽学校保健特別対策
事業費補助金
340万円

主な歳出

▼文書管理システム構築業務委託料
2148万円

▼町づくり事業工事請負費
1430万円

▼オンライン会議用備品費
930万円



若い世代のワクチン接種が始まる
(さわやかハウス)

▼ワクチン集団接種会場

業務委託料

3421万円

▼新型コロナウイルス

感染症対策消耗品費

2490万円

▼生活道路整備工事請負費

427万円

▼住宅改良事業工事請負費

1430万円

▼小学校整備事業工事請負費

475万円

▼中学校整備事業工事請負費

226万円

▼徳丹城史跡公園整備

工事請負費

2036万円

▼中小企業者等

事業継続支援金

2000万円

▼飲食店応援給付金

440万円

主な質疑

コロナ対応事業者支援は

質問 国のコロナ対応交付金

を使った町内事業者を応援する防災ラジオ番組制作費はどのような内容か。

回答 希望する町内事業者に、レポートで店をPRするような番組、企画を考えている。

質問 現時点では飲食店への直接支援が必要ではないか。

回答 家賃補助等の直接支援は引き続き行う。一過性ではなく後に続くような支援で交付金の有効活用をしていく。

生活道路の工事場所は

質問 生活道路整備工事で予定している場所はどこか。

回答 上天次地内と和味地内を予定している。

凍霜被害の補助対象は

質問 農作物災害復旧対策事業の補助内容は。

回答 凍霜被害の多かったりンゴでは被害率が31%以上は県で、20〜30%については町が補助する。

小中学校の蛇口の交換は

質問 小中学校の水道蛇口の取っ手を、レバー式等に交換する時期はいつか。

回答 予算の可決後に契約、施工となるが、早めの設置に努める。



交換されたレバー式蛇口

自治会オンライン会議は

質問 コミュニティ組織オンライン会議品購入の具体的な内容は。

回答 各自治公民館に端末を配布し活用する。

議案の修正動議

議案第68号「令和3年度矢巾町一般会計補正予算（第4号）」に対し修正を求める動議が修正案を付して提出されました。

要旨 事業者をPRするためのラジオ番組制作費は、コロナ禍が収束していない中での支援策としては時期尚早。

事業者体力維持のため直接支援が必要で、総務費を減額し、商工費を増額するもの。

採決 議案第68号の修正案であるため、同案の採決の前に修正案の採決が行われた結果、賛成少数で否決されました。

財産取得

徳丹城史跡公園
駐車場用地を取得

史跡公園の整備を進めている徳丹城跡について、魅力発信や地域活性化を図るため、駐車場用地や多目的スペースとして8682㎡を確保するものです。



徳丹城史跡の駐車場予定地（佐々木家曲家隣り）

各議案の採決状況

令和3年定例会8月会議

議案番号	提出議案	議員名													採決結果					
		藤原信悦	吉田喜博	小笠原佳子	谷上知子	村松信一	廣田清美	高橋安子	水本淳一	赤丸秀雄	昆秀一	藤原梅昭	長谷川和男	川村よし子		小川文子	山崎道夫	廣田光男	高橋七郎	
第63号	手数料条例及び個人情報保護条例の一部改正	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可
第64号	令和3年度一般会計補正予算(第3号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可

令和3年定例会 9月会議

諮問 第4号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	同
諮問 第5号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	同
第65号	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第66号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第67号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第68号	令和3年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	欠	●	●	●	○	可
第69号	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第70号	令和3年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第71号	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第72号	令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第73号	令和3年度下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可
第74号	令和2年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	認
第75号	令和2年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	認
第76号	令和2年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	認
第77号	令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	認
第78号	令和2年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	認
第79号	令和2年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	可
第80号	令和2年度下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	認
第81号	令和2年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	可
第82号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
第83号	令和3年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
発議案 第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
動議	議案第68号「令和3年度矢巾町一般会計補正予算(第4号)」に対する修正動議	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 同=同意 認=認定

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

各議案の採決状況

ズバリ 町政を問う



稲刈り体験学習 (矢巾中学校)

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

9月会議では下記の内容について10人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●昆 秀一 議員 P17

- ①新型コロナウイルス対応
- ②農業の未来
- ③ハラスメント防止対策
- ④生活習慣病の予防対策
- ⑤STEAM教育について

●村松 信一 議員 P18

- ①市街化調整区域への地域振興を目指した定住・移住の取り組みについて
- ②「田んぼダム」の導入について

●赤丸 秀雄 議員 P19

- ①町施設などの将来展望について
- ②地域おこし協力隊の充実について
- ③ふるさと納税増収に向けた取り組みについて

●藤原 信悦 議員 P20

- ①人口減少に伴う諸課題の取り組みについて
- ②地域住民と連携した防災・避難活動について
- ③コロナ禍収束後の事業継続等の支援について

●廣田 清実 議員 P21

- ①旧矢巾中学校跡地について
- ②町営住宅の今後の方針と県営住宅誘致の関連性について
- ③不登校対策と今後の支援体制について
- ④小学校学区について

●山崎 道夫 議員 P22

- ①旧矢巾中学校敷地利活用に対する考えについて
- ②通学路における児童生徒の命を守る安全対策について

●小笠原 佳子 議員 P23

- ①飲酒運転根絶に向けた施策について
- ②介護保険サービスによる住宅改修及び福祉用具購入の支援について
- ③コロナ禍の避難所運営の在り方について
- ④財政の健全化への具体策について

●藤原 梅昭 議員 P24

- ①「安全・安心」なまちづくりについて
- ②産業振興による地域活性化について
- ③「ダイバーシティ」への取り組みについて

●小川 文子 議員 P25

- ①新型コロナウイルス対策について
- ②学校給食の調理部門の民間委託について
- ③矢巾斎苑の黒煙対策を
- ④スーパーシティについて

●川村 よし子 議員 P26

- ①国民健康保険医療制度について
- ②高齢者が安心して暮らせる社会について
- ③鳥獣被害防止対策について

※次ページからの一般質問は、紙面の都合上、内容を要約しています。
詳しくは、議会事務局まで ☎019-611-2801



議員 一 秀 一
（一心会）
こん 昆

農業後継者の育成は 各種制度を活用し取り組む

質問 農林業ビジョンでは、本町の農業経営体は専業農家として生計を立てるだけの十分な収益を安定して得ることができ、後継者がいるか確保できる者が望ましいとある。どうすれば専業として収益を安定させられ後継者も育成できると考えているのか。

町長 国・県の制度に加えて近年は個人の法人化事例もあり、営農意識の変化が見受けられる。

集落営農法人では、次世代の人材とのつながりに配慮した事例もあり、関係機関連携による就農希望者に対する相談支援や各種制度の活用で引き続き後継者の育成に取り組んでいる。



農業の未来に光を照らせるのか（稲刈りを待つばかりの田園）

教育現場の ハラスメントは マニユアルをもとに 指導し防止に努める

質問 ハラスメントとは嫌がらせやいじめのことで、その種類はさまざまだが、他者に

対する発言・行動等が本人の意図に関係なく、相手を不快にさせたり尊厳を傷つけたり不利益や脅威を与えることである。

教育現場におけるハラスメントの現状と対策は。

町長 教職員に対してマニユアルをもとに指導し、各学

校で毎年度コンプライアンス宣言を行い、ハラスメント行為の禁止を含めコンプライアンス遵守に取り組んでいる。

メタボリックの 改善策は

生活習慣を見直す
サポートを実施

質問 生活習慣病の原因ともなるメタボリックシンドロームの改善策は。

町長 早期発見のための特定健診を実施している。

その結果からリスクが高く改善が必要な方に対し、保健師等が生活習慣を見直すサポートをしている。

質問 生活習慣病はストレスと密接な関係がある。このストレス解消策をどう考え、解消しようとしているのか。

町長 ストレスは生活習慣病のほか、様々な依存症などにも関係がある。解消策としては、早寝早起きや食事などの生活習慣を見直すことなどを指導している。

市街化調整区域内の 人口増加策は 空き家の有効活用に努める



むらまつ のぶかつ
村松 信一議員
(矢巾明進会)



移住・定住促進が待たれる市街化調整区域

質問 今年4月から農地1ha¹で市街化調整区域に居住できることになった。

人口減少の著しい地域に移住・定住者を迎えるために、積極的に取り組むべきでは。

町長 空き家や農地を地域資源として活用できるよう、農地付き空き家の取り組みを開始

した。

今後希望する方へのサポートとして、地域コミュニティーの情報提供や営農相談ができる支援員配置など、十分な資料や制度をそろえ市街化調整区域の人口増加に向け、取り組みを強化する。

質問 町内にある空き家所有者の判断や意向確認のアンケート調査を行うてはどうか。

町長 アンケートでは詳しい確認が出来ないことから、所有者との直接面談などで正確な意向を得たい。

質問 農地付き空き家の住居はリフォームが原則だが建て替えは可能か。

町長 昭和45年以降の建物でも用途変更手続きで建て替えが可能である。

質問 空き家に定住したが小面積の農地で十分な場合、余分な農地の売却は可能か。

また、農家分家の空き家は売却できるか。

町長 農地は農業委員会での

審査を行うことで売却は可能。農家分家の空き家も用途変更で可能となる。

質問 移住・定住の各種相談が1カ所のできる窓口を設置してはどうか。

町長 情報提供ができるよう関係機関と連携し、1カ所で相談できる体制に努める。

質問 住まいを探す方に「お試し移住」として「定住支援住宅」を設置してはどうか。

町長 実現に向けた取り組みをしたい。

田んぼダムの 取り組みは

減災・防災に 効果あり導入へ

質問 田んぼダムの拡大に向け営農組織等に対し説明会を開催してはどうか。

町長 収量・品質に影響がなく、洪水被害の軽減ができることから、営農関係組織等に説明していく。



あかまる ひで お
赤丸 秀雄議員
(一心会)

旧矢巾中学校跡地 利用について町民説明を 適正な時期に説明する



構想が決まるまで現況利用が望まれる「かっこうグラウンド」

質問 町民の関心が高い旧中学校跡地の活用であるが、利用方針が決まる前からなぜ早急に売却して基金化するのか。
町長 学校再編・統合は喫緊の課題であり、売却による財源確保が必要である。

質問 学校再編・統合や総合グラウンド等の施設方針が決まり、町民説明が終わるまで売却をしないことで良いか。
町長 適正な時期に町民説明を行うので、それまでは売却を控えたい。

町営住宅の建設場所は今年中に確定予定

質問 矢巾・高田町営住宅の建て替えを検討中と聞くが、建設場所は、いつ決まるのか。
町長 現在候補地の絞り込み段階であり、今年中に確定し計画を前に進める。

地域おこし協力隊 積極的に募集を サイト等を活用し 募集に努める

質問 町をさらに活性化するため、地域おこし協力隊員の増員を望むが募集の工夫は。
町長 企画提案型とミッシヨ

ン型を説明して、応募者の考えを踏まえ採用している。

質問 国民保養センターの運営・活性への募集の考えは。
町長 ひとつの考え、提案として受け止める。

ふるさと納税を 基金化に 財政が厳しい

質問 ふるさと納税返礼品の食料品セットが全国的に人気である。地元の野菜・果物・米・山ぶどう製品のセットを小分け配送して、農産物の拡大や推奨をする考えは。
町長 地元産野菜と果物には

時期があり、お客様ニーズに
応えられない面が多くセット
配送は難しい状況である。

質問 目標額を上回った分を将来のために、基金化する考えはないか。
町長 基金化したいが、あと3年程は財政が厳しい状況であり難しい。

一般質問 町政を問う

進む人口減少 町の取り組みは 就労の場と介護支援の充実



ふじわら しんえつ
藤原 信悦議員
(町民の会)



放課後に小学生を預かり生活指導、育成を行っている(矢巾東児童館)

質問 伸び悩む人口に対する今後の取り組みは。

町長 市街化区域拡大に伴う移住定住施策の展開により、若い世代の増加も見込まれる。また、子育て世代包括支援事業等の取り組みで、合計特殊出生率の向上につなげる。

質問 若い世代の介護負担をどう減らすか。

町長 若い世代の就労と介護が両立できるよう、介護保険サービス等の支援体制を拡充。

質問 若い世代の働く場をどう確保するか。

町長 地区計画制度等の活用や金融機関を介した情報共有サイトの活用、商工会との連携等で企業進出を図る。

住民連携の 避難活動とは 自助・共助・公助で 命を守る

質問 避難行動要支援者に対する救援体制の整備状況や避難所の拡大、町民への周知は。

町長 個別避難計画を作成するとともに、有事には自主防災会や地元消防団等による積極的支援や連携体制の強化を図る。民間ホテルの活用等で福祉避難所の拡充を検討する。また、広報やホームページで周知を図る。

質問 住民参加型の避難訓練の実施は。

町長 「自らの命は自ら守る」ためにも大変重要であり必要と考える。防災訓練を重ね、防災意識の高揚を図る。

コロナ収束後の 事業支援は 追加交付金で支援

質問 これまでの事業継続支援の状況と課題は。

町長 昨年度の家賃給付は延べ103件。業種指定要件で外れた事業者があった。利子および保証料補給は、41事業者である。融資を受けた事業所と要件に合わず運転資金等で困る事業所に二極化している。

今後は包括的に継続支援できるように制度の構築を図る。

質問 コロナ収束後、事業正常化に向けた支援はあるか。

町長 今後、予定されている国の地方創生臨時交付金追加交付分を活用し、支援する。



ひろたきよみ
廣田清実議員
(町民の会)

旧矢巾中学校跡地代替地を 購入を含め整備を進める

質問 旧矢巾中学校跡地の活用について、今年3月の売却方針では、住宅地と事業者向け等の開発を行い、教育基金として積み立てたいとの考えを示した。

現在の土地の価値を知ることが重要と思われるが、資産価値の調査は行っているのか。

町長 先人が取得した貴重な財産であり、売却の資料としても必要と考えられることから、資産価値の調査は必要なものと捉えており不動産鑑定を実施したい。

質問 跡地の面積では町の施設の活用として狭いとの説明があった。

売却するだけでは町民の理解が得られないと考える。町施設の移転などのためにも町

財産としての代替地を購入する考えはないか。

町長 代替地の購入も含めて整備を進めたい。

質問 跡地の活用として、個人事業者を含めた企業誘致のための、事業所と住宅を備えた高層階建築を売却の要件に入れる考えは。

町長 用途地域が第一種住居地域であり、この制約の範囲内で事業所等を設置することは可能である。公募の際に提案や評価の加

新住宅地の学区は行政区も含め協議する

質問 新たな市街化区域になる住宅地の学区をどう考えているか。

教育長 現在は矢巾東小学校、煙山小学校学区にあたるが、新住宅地児童数の推計も検討要素を含め審議していきたい。



開発が予定されている下花立地区(南矢幅地内)

質問 宅地販売時には学区や行政区等を示すべきだと思っ

町長 学区や行政区再編なども含め、教育委員会や関係担当課と検討したい。

質問 現在、小学校によって

児童数に大幅な差が生じているが、その解消策は。

教育長 小規模および大規模校それぞれのメリット、デメリットがある。

文部科学省で示している適正規模・配置等に関する手引きを考慮し検討していく。

一般質問 町政を問う

旧矢中跡地に 体育館等の建設を 売却し学校施設整備の財源に



やまざき みち お
山崎 道夫 議員
(一心会)

質問 旧矢中中学校敷地は、住宅地や業務用地としての売却ではなく、築40年以上も経過している町民総合体育館や役場庁舎等の建設用地として活用を図るべきでは。

また、かつこうグラウンドについても利用者が多いことから、このまま利用するべきではないか。

町長 そのような考え方もあるが、小学校の統合を含めた施設整備は、喫緊の課題として最優先に取り組まなければならない事項である。

財源確保を含めた議論を現時点から進めるべきとの考えから、売却方針を示したものであり、町としては速やかに売却すべきと考えている。

質問 学校施設の統合や社会教育施設整備などの構想や計画、さらには基金に積み立てる目標額も示さず、速やかに売却する考えは理解できるものではないがどう考えるか。

町長 将来、各種町有施設の在り方については、第8次総合計画に反映させるべきものとして捉えているが、学校の統合を含めた施設整備については、今年6月に設置した学校通学区域審議会や議会での議論をお願いしている。

今後も町が一体となって課題解決にまい進していきたいと考える。

通学路の 安全確保を スピード感を持って 取り組む

質問 千葉県八街市で発生した痛ましい事故で下校途中の児童が犠牲になった。

町内の通学路の総点検と危険と思われる場所の把握を行ったか。



近く歩道設置が予定されている田中縦道線（南矢幅地内）

教育長 歩道が未整備で比較的交通量が多い路線8カ所を抽出し、7月に調査を行った。

質問 過去10年間において通学路に歩道を設置した路線数と延長は。

町長 7路線約5.3kmとなっている。また、要望が出されている6路線約2.3kmを計画している。

今後、学校や町民の声を聞き、危険箇所を把握しスピード感を持って取り組む。



おがさわら よしこ
小笠原 佳子議員
(公明党)

コロナ禍での避難所は 親戚・友人宅等の分散避難の推奨



避難所の段ボールベッド設置模様 (避難所開設運営訓練)

質問 発災時にコロナ感染のリスクを考えると指定避難所は必ずしも「安全な場所」ではないと考えるが対策は。また、高齢者等要支援者の避難行動への対応は。

町長 親戚、友人、自宅2階の垂直避難やホテル活用な

ど、分散避難を推奨している。高齢者等の個別避難計画を作成し、今後は関係団体との連携で計画の実効性を向上させる。

飲酒運転の根絶は

広報活動により
機運を醸成する

質問 千葉県で飲酒運転による児童5人が死傷する痛ましい事故があった。当町での飲酒運転の検挙数及び根絶に向けた取り組みは。

町長 検挙数は昨年度5名、本年6月末時点で3名である。飲酒運転撲滅を目標として広報啓発活動を実施している。

財政健全化の 具体策は

プロジェクト会議で
業務見直し

質問 財政の硬直化が深刻であるが、経常収支比率を下げ

る時期、目標について伺う。また財政調整基金の残高を回復するため、予算の見直しや経費削減の計画はあるか。

町長 令和7年度頃に経常収支比率を95%にすることを目標にしている。

財政健全化プロジェクト会議の業務見直し等による経常経費の削減に加え、普通建設事業等の臨時的経費においても必要性を検証する。事業計画の見直しでは一般財源の削減を行い、基金の取り崩しを抑え本町の歳入に見合った予算を編成していく。

福祉用具 購入支援を 要綱に基づき実施

質問 介護保険サービスによる住宅改修費や福祉用具購入費の支払いについての受領委任払いにしては。

町長 町介護保険福祉用具購入費および住宅改修費の受領委任に関する取扱要綱に基づき、すでに一部実施している。

一般質問 町政を問う

町内1級河川の整備状況は 順次改修しており今後も継続



ふじわら うめあき
藤原 梅昭議員
(一心会)



今後改修が予定される芋沢川(下北地区内)

質問 平成25年8月の豪雨から8年経過したが、当町を流れる1級河川の整備状況は。
町長 岩崎川は県道不動盛岡線までの改修は完了し、上流は順次整備を予定している。芋沢川、太田川、大白沢川は引き続き改修中。他の河川も土砂が堆積している箇所しんせうの浚渫しんせうなど鋭意対応している。

質問 当町の土砂災害危険な9箇所くわんせうの対応状況は。
町長 危険箇所けんきんせうの点検パトロールにより、対象区域に標識を設置し周知を図っている。

質問 内水氾濫・外水氾濫を含めたハザードマップ作製および町民に向けた周知や訓練の状況は。
町長 来年度以降早期に防災マップを整備するとともに、町民へ配布し、防災訓練・ワークショップ等を通し周知している。

鳥獣被害 対策は

情報連絡員を配置

質問 クマ・イノシシ等の鳥獣被害対策は。
町長 西部5行政区に新たに有害鳥獣目撃情報等連絡員を配置し、迅速に把握する体制を整えた。連絡員からの情報をもとに、対象地域を巡回し注意喚起を行っている。また、猟友会と連携し、捕

また、猟友会と連携し、捕

獲罾設置などの対策を講じている。

企業誘致等で 定住推進を

制度拡充に努める

質問 若者・女性の定住を図るためにも、就業先を確保できるような企業誘致を。
町長 企業誘致は、新規雇用の確保や定住人口の促進など、地域活性化が期待される重要な施策である。新規立地企業への税制優遇等の制度拡充を検討する。

ダイバーシティ 取り組みは

多様性の 浸透に努める

質問 令和2年度施政方針のダイバーシティ取り組みは。
町長 男女共同参画パネル展の開催や障がい者スポーツ体験教室、LGBT相談など順次進めている。

また、猟友会と連携し、捕



おがわふみこ
小川文子議員
(日本共産党)

コロナ感染症の対応は ワクチン接種は順調に進む

質問 学校・保育園でのコロナワクチン接種状況は。また、感染者が出た場合の対応は。

町長 教職員のワクチン接種は完了し、12歳以上の接種は8月21日から実施している。感染した場合は、学校・学年・学級ごとに対応し、保育園等は原則として休園する方針である。

質問 国では抗原検査を教職員や介護施設職員に定期的実施するとしているが、希望する町民にも対応できないか。

町長 感染が心配な方は、かかりつけ医に相談できる。希望者は、町内2か所の医療施設で検査が可能である。

質問 医療従事者が不足し

ており、医師会等と連携を図り、退職した看護師の復職を支援してはどうか。

町長 県看護協会では、潜在看護師の掘り起こしを行い、再就業に向けた研修を実施している。県や関係機関と情報共有を図り対応する。

スーパーシティの 住民説明を 適切な時期に対応

質問 政府は区域指定の専門調査会が、自治体からの提案に不満を表明したことを受けて、区域指定を10月以降に先送りした。

町長 政府は区域指定の専門調査会が、自治体からの提案に不満を表明したことを受けて、区域指定を10月以降に先送りした。提案した31全ての自治体に見直しを指示し、再提出することを求めたが、提出前に説明会開催を望むが。

町長 具体的な進め方は今後内閣府からの通知に従い、適切に対応していく。

コロナ禍のため住民への説明は、状況を踏まえ適切な時期に対応する。



サーモグラフィーで体温計測(役場1階)

学校給食 委託中止を 業者選定を進める

質問 令和4年度から調理部門を民間委託することから、27人の会計年度任用職員が解雇されるのでは。

町長 コロナ禍で非正規労働者の解雇が社会問題の今、民間委託すべきでないと考えるが。

コロナ禍で非正規労働者の解雇が社会問題の今、民間委託すべきでないと考えるが。

教育長 現在公募型プロポーザルで応募した6業者の内、3業者に絞って選定中である。選定にあたり経営や学校給食の受託実績、従業員の雇用状況を把握し、人事管理や衛生管理能力に優れた事業者の選択を進めている。

継続雇用を希望する方には、賃金や勤務条件が現在より下回らない事業者を、優先的に採用する考えである。

一般質問 町政を問う

国保税 子どもの均等割 全額助成を

国は半額助成を決定



かわむら
川村 よし子議員
(日本共産党)



元気に遊ぶ町内の子どもたち (やはば一く3階 どんぐりっこ)

質問 コロナ禍で医療受診控えがあるが、昨年度の状況はどうか。

町長 医療給付費は、前年と比較し9300万円ほど減少している。緊急事態宣言や感染者数増加による受診控えが想定される。

質問 子どもの均等割2分の1助成を国が令和4年4月から実施するが、町が半額助成し、併せて全額助成しては。

町長 法定外繰り入れは、多方面でペナルティの影響もあり、町独自の減免実施は考えていない。

質問 国保運営委員会に対し、短期保険証発行や窓口留め置き状況を報告しているか。

町長 納税者と窓口で直接相談を受け付けている。今後、運営委員会に報告していく。

高齢者への ワクチン接種は 情報を共有し 寄り添った対応を

質問 今後のコロナワクチン未接種高齢者への対応は。

町長 接種済み者は約9割だが、未接種者については地域包括センターやケアマネージャーとの情報共有で、寄り添った対応に努める。

質問 商工会や飲食業者と連携し、在宅高齢者へ弁当等を配食する考えは。

町長 配食の利用者は、社会福祉協議会では35名、介護認定では町外3業者による利用が20名である。今後も回数を増やして生活の利便性向上に努める。

質問 8月より施設入所者の食費・居住費の値上げが実施されたが、利用者や家族等からの相談はないか。

町長 相談は入っていない。今後も関係機関と連携し、相談体制を確保して丁寧な対応を行っていく。

鳥獣被害 防止策は 予算化に努める

質問 町内の鳥獣被害防止策と、今後の計画は。

町長 電気柵や里山の整備および、わなの設置、猟友会の強化など課題も多い。令和4年に予算化を図り、対策に努めたい。



町民の声に耳を傾けて

コロナ禍が続いている最中9月6日、一般質問の傍聴に1人で参加しました。

当日は、役場4階の議場入り口で受付を行い、資料を受け取り傍聴席に着きました。

議会だよりは毎回読んでいますが、傍聴席で聞く質疑は議員と町長・教育長が生の声で論議するため、内容が把握できてとても勉強になります。

再質問の詳細部分は、各課長が答弁するため、ひと



おがさわら じゅんこ
小笠原 純子さん (新田1区)

(写真撮影のためマスクを外していただきました)

つのテーマが深掘りされ、理解しやすいのも良いことです。

地域で自分らしい暮らしが出来ることに幸せを感じながらも、世の中いろいろ出る課題や町民の声に耳を傾けて物事の解消をお願いしたい。

今回は数回目の傍聴でした。いつも学ぶことが多くあり充実した時間です。

最後に傍聴席から見える南昌山は秋晴れに映え、素晴らしい景観でした。

議員の活動を
紹介します！

町政調査会研修会を開催

「今だからこそ身につけたい
大切な人の話聴けていますか？」

講師 社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

理事長

智 だ ち
田 だ ち
文 ふ ち
徳 の り
氏

コロナ禍で自殺者の増加

が社会問題になっていることから、町政調査会では自殺対策についての理解を深めるため、研修会を開催しました。

未来の風せいわ病院(盛岡市)の智田文徳氏を講師としてお招きし、特に若者の自殺の現状や、こころの健康についてご講義をいただきました。

また、福祉課からは町の状況や取り組みについて報告がありました。
今回の研修項目は次のとおりです。

- ・自殺の原因・背景
- ・子どもに広がる深刻な問題
- ・インターネット・ゲーム依存
- ・子どもの脳が抱えるリスク
- ・思春期に不安になる理由
- ・ネット依存と自殺
- ・町の自殺の現状
- ・町の取り組み内容



町政調査会とは

議員全員で構成され、町政の振興発展に寄与することを目的に、研修会や先進地事例の調査研究を行っています。



東北の頂点に立ち全国大会への切符を手にする
(青森市 マエダアリーナ 8月9日)

矢巾中学校女子ハンドボール部

部長 川村 実咲 貴 さん

全国大会に出場して

全国大会は、他の大会とは比べものにならないくらい厳しい世界だと痛感した。

絶対に勝つてやろうと思って挑んだ1回戦。どんなにあたってもしュートをねじ込んでくる強さに圧倒され、自分達の弱さが出てしまった。チームの雰囲気も悪くなり、最悪な前半だった。このままでは終われない、そう思って迎えた後半。自分達らしいプレーができた。ハンドボールの本当の楽しさを感じる事ができた。弱点である立ち上がりの悪さが敗因の一つとなったが、東北大会で優勝できたのは、3年間の良き集大成となった。

全国の舞台に立てたのは、仲間や先輩、ライバル校、地域の方々、今までたくさんサポートをしてくれた親、そしてどんなことがあっても寄り添って教えてくれた先生のおかげだ。前半から力を発揮

できれば...など、まだ後悔することももある。それでも私達は人としても成長することができた。そのことにまず感謝したい。春と夏の全国大会、どちらも経験できたことも大切な思い出になった。

これからはハンドボールを通して得たことを生かし、自分のために道を行きたい。そして、後輩たちには私達の思いを継いで、必ず全国大会ベスト4に入りたい。



東北大会優勝 表彰式の様子

〇表紙に寄せて〇

秋の全国交通安全運動に合わせて、ふどうこども園の園児たちが元気な声で安全運転を呼び掛けてくれました。

日頃からの安全運転で、子どもたちの声に応えていきたいですね。



あ と が き

編集に参加して2回目になります。

編集には約1カ月ほどの期間をかけた。

今後も正確な内容をお伝えしたいと思います。

声の欄等への町民の皆さまのご協力に感謝申し上げます。

編集委員 谷上 知子

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

委員長 水本 淳一

副委員長 川村よし子

委員 谷上 知子

高橋 安子

赤丸 秀雄



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

過去のやはば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます

